

『薬物治療塾』

薬剤師が薬物治療に立ち向かうための
基礎力充実を目的とした勉強会です

講義要項

対象	コース	定員
第8期後期コース：2017/5～2017/9 中級 全ての薬剤師 (後期(中級)コースからの受講も可能)	PK/PD応用コース 【A-2】	30名
	臨床統計中級コース 【B-2】	30名
	薬物治療評価コース 【C-2】	30名
総合 入門又は中級コース修了者 (入門編コースはA-1を受講された方)	自らが取り組む新医薬品の客観的評価 入門編コース 【D-2-1】	10名
	自らが取り組む新医薬品の客観的評価 実践編コース 【D-2-2】	15名
第9期前期コース：2017/11～2018/3 入門 全ての薬剤師	PK/PD入門コース 【A-1】	30名
	臨床統計入門コース 【B-1】	30名
	薬物治療文献コース 【C-1】	30名
総合 入門又は中級コース修了者 (入門編コースはA-1を受講された方)	自らが取り組む新医薬品の客観的評価 入門編コース 【D-1-1】	10名
	自らが取り組む新医薬品の客観的評価 実践編コース 【D-1-2】	15名

各コースそれぞれ
前期 5回・後期 5回
13:10～16:20の3時間(休憩10分含む)
各コースは月1回日曜日開催します

会費：
A～Cコース5回分(15時間)
一般会費 10,000円
特別会費(*) 6,000円

Dコース5回分(15時間)
一律 3,000円

特別会費(*)対象者：
・日本アプライド・セラピューティクス学会会員
・薬物治療モニタリング研究会会員
・明治薬科大学大学院臨床薬学専攻修了者

申し込み方法：
詳細はHPをご覧ください
<http://plaza.umin.ac.jp/~juku-PT/>

3月7日より第8期
後期コースの受講
者募集開始

講義概要(いずれも講義と演習のスタイル)

A-1コース：臨床薬物動態情報の読み方を学び、式を極力使わず、薬物の体内の動きをイメージとして把握出来るようにします。また、各薬物の特徴づけから治療への適応を考えられるようにします。

A-2コース：投与設計に必要な速度論の基礎知識、PK/PDモデルの基礎知識、PK/PDデータの読み方、評価が目的です。

B-1コース：検定・推定(パラメトリック、ノンパラメトリック)を中心に、式などは極力避け、統計の考え方をイメージで把握できるように努め、統計データの読み方のポイントを学びます。

B-2コース：相関・回帰・多変量解析・メタ解析など、臨床試験論文でよく見かける統計手法・用語についての理解を深めます。統計理論を数学的に学ぶのではなく、一見無機質な統計解析データを柔軟に読み取ることが目的です。

C-1コース：実際の臨床試験論文を取り上げながら、講義と演習を通じて、記載された方法・結果・図表データ等から把握すべき情報を正確に読み取るスキルを身につけます。読み取った情報を批判的に吟味し、治療法の有効性や安全性、予後などを自ら評価できるようになることを目指します。

C-2コース：臨床でよく遭遇するCommon Diseasesを題材に、症例に基づいて、薬剤師の視点から薬物治療を評価・立案する際の基本的な考え方を身につけます。

Dコース：A～Cコースで学んだ知識をもとに、実臨床で使われている医薬品の有効性・安全性に関する全体像の把握、更にそれらの医薬品情報に対する客観的な評価能力を身につけ、自らが医療者に対して適切に情報提供が行えることを目指します。

D-1-1、D-2-1：PK、臨床試験論文、審査報告書、企業の医薬品パンフレットに対する評価の方法や流れを学びます。

D-1-2、D-2-2：新医薬品を取り上げ、評価シートをもとにPKの特徴づけから用法用量の妥当性の検討、臨床試験論文と審議報告書の把握と評価、企業の医薬品パンフレットの評価について参加者全員で議論を行い、医薬品評価の実践に取り組みます。